

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	C22098
課題名	大腸内視鏡的粘膜下層剥離術後の出血リスク因子と止血剤投与に関する検討
研究期間	実施許可日～2027年9月1日
研究の対象	2014年11月～2022年9月に当院および共同研究機関で大腸腫瘍に対して内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられた方
利用する試料・情報の種類	☒ 診療情報（詳細：年齢、性別、診断名、内服薬、内視鏡診断、治療内容、病理組織診断の結果等） ☐ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐ 血液 ☐ その他（ ）
外部への試料・情報提供	☐ 自施設のみで利用 ☒ 多施設共同研究グループ内（提供先：旭川医科大学）（提供方法：電子的配信） ☐ その他（提供先： ）（提供方法： ）
研究組織	代表機関・研究代表者： 旭川医科大学 内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野（消化器・内視鏡学部門） 高橋 慶太郎 共同研究機関： 旭川厚生病院 消化器科・医長 田中 一之 市立旭川病院 消化器内科・医長 岩間 琢哉 旭川赤十字病院 消化器内科・医員 黒田 祥平 遠軽厚生病院 内科・医員 武藤 桃太郎 名寄市立総合病院 消化器内科・医長 芹川 真哉 札幌東徳州会病院 消化器内科・医員 堀内 正史 富良野協会病院 消化器内科・医員 齊藤成亮
研究の意義、目的	大腸腫瘍に対して内視鏡的粘膜下層剥離術が広く行われており、主要な合併症として術後出血が挙げられます。抗血栓薬の内服などが後出血の一因として報告されていますが、後出血を予防する方法については一定の見解が得られていません。今回、当院および共同研究機関で施行した内視鏡的粘膜下層剥離術を後ろ向きに検討し、後出血のリスク因子を明らかにするとともに、止血剤投与による後出血抑制効果および治療効果を明らかにします。
研究の方法	当院および共同研究機関で大腸腫瘍に対して内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられた方の年齢、性別、診断名、内服薬、内視鏡診断、治療内容、病理組織診断の結果などを解析します。
試料・情報の管理に	旭川医科大学 学長 西川 祐司

ついて責任を有する者	
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 電話: 0166-68-2462 研究責任者： 旭川医科大学 内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野（消化器・内視鏡学部門） 高橋 慶太郎 研究代表者： 旭川医科大学 内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野（消化器・内視鏡学部門） 高橋 慶太郎 共同施設責任者： 〒096-8511 名寄市西7条南8丁目1 電話: 01654-3-3101 名寄市立総合病院 消化器内科・医長 芹川 真哉